

# 京大が「市民公開講演会」

23日、舞鶴商工  
観光センターで 国際シンポジウムに併せ

京都大学フィールドの日本での開催。海外ト研究所のジョンS・科学教育研究センター 22カ国から約80人、国バークさん、田中克・は、舞鶴市浜の市商工内から約60人の研究者 京大同研究センター長 観光センターで21日か が集まり、ヒラメなどが講師を務める。

ら5日間にわたって開 の異体類の生態学や栽 島山さんは、宮城県 催する「第6回国際異 培漁業の研究成果など の気仙沼湾でカキ・ホ 体類生態学シンポジウ の情報交換とともに、 タテの養殖業を営み、 ム」に併せ、23日に同 食料や環境問題などに 国内ではいち早く海の 観光センター・コンベ ついて議論する。

シオンホールで、「海の 講演会は、シンポジ ウムで報告される研究 育てることに気づき、 生きものと人の未来・ 成果の公開を目的に開 17年前から漁民による 共存の道を探る」をテ くもので、宮城県気仙 広葉樹の植林活動を提 沼の漁師で、カキの海 唱し、「牡蠣の森を慕う ムに市民公開講演会 を開く。

同シンポジウムは、 を守るために山に木を 会」を結成して同運動 1990年にオランダ 植える「森は海の恋人 の輪を広げてきた。こ で開催されて以降、3 運動」を推進する島山 の活動は、小中学校の 年おきに世界各地で開 重篤さんほか、アメリ 教科書でも紹介されて かれており、今回が初 カ・NOAAアフォー いる。また著作も多く、



講演会講師の1人、「森は海の恋人運動」を推進する島山重篤さん

昨年には宮沢賢治イハトープ賞を受賞、今年度から京大同研究センターの教授にも就任している。

講演会は、午後2時の開会。バークさんの「海の保全と海洋生物学」アメリカ東海岸を「潜る」、続く田中センタ

1長の「渚の先住人」どなたでも自由に参加  
ヒラメ稚魚のひとり言」ただけですので、気  
の講演のあと、午後3 軽に来場ください」と  
時50分から島山さんが 同センターでは呼びか  
「森と海をつなぐ心の けている。  
植林活動」の演題で話 問い合わせは、電話  
0773(62)551  
す。  
「入場は無料で、事 2の同センター・舞鶴  
前申し込みも不要です。 水産実験所へ。